

長岡市中心市街地活性化協議会事業について

中心市街地活性化基本計画（第3期計画）の策定される予定であることを受け、協議会として計画の推進につながる取り組みを新たに検討している中で、意見等をいただきたいもの。

1 検討している取り組み

○テーマ

まちを歩く人、まちに集う若者の増加に寄与し、特に駅・アオーレ長岡周辺だけではなくまちなか全体に人を誘導する取り組み

（スポットの整備・回遊を促すイベントの実施など）

○ポイント

- ・ 3期計画の方向性（『つなぐ』）を踏まえたものとする。
- ・ 協議会としての取り組みのため、複数の構成団体が参画・連携する取り組みが望ましい。
- ・（構成）団体が主体の取り組みを支援する形式でも構わない。

○予算

～100万円

2 関連事業の実施状況（一例）

【協議会】

○まちなか学生ギャラリー事業

フェニックス大手イーストスクエアで行う3大学1高専15専門学校の学生によるパフォーマンスや作品展示。

○歩道活用オープンカフェ社会実験支援事業

大手通り、すずらん通り、セントラル通りの歩道を有効活用するため、歩道上に椅子とテーブルを設置している市商連を支援。

【アオーレ長岡】 ※まちなか店舗・商店街と連携

○ハロウィンイベント

- ・ まちなか店舗のイベントをアオーレ長岡で紹介
- ・ 仮装イベントを連携して実施。
- ・ まちなか店舗を会場として、アート体験を実施

○アルビレックスBB

- ・ まちなか店舗を紹介する「おもてなしマップ」を配布
- ・ 駅周辺の宿泊施設の紹介

【そのほか】

- ポキパス ○ながおかバル街 ○越後長岡美酒めぐり
- 歴史館博物館めぐり ○歩行者天国

3 新たな取り組みとして考えられるもの

○ギャラリー事業の強化

出展者及び見学者が多くないことを受け、学生以外へ対象を拡大するとともに、会場もフェニックス大手イースト以外のまちなか（店舗、まちカフェ、歩道上など）を対象とすることで、より自由な発想で実施できる環境とする。

○歩道の有効活用の強化

利用が停滞していることを受け、市商連が実施しているオープンカフェの支援を強化し、装飾、広報、特典整備等に取り組むことで、利用促進を促す。また、オープンカフェ以外の歩道の有効活用について研究する。

○若者視点によるまちめぐりマップの作成

若者が関心のあるテーマ、若者に親しみやすい内容（イラスト等）でマップを作成する。

○回遊に繋がるイベントの実施

連携イベント時のスタンプラリーや、若者に人気のある謎解きまち歩きゲームの実施。

○「明かり」を活用したイベントの強化

年末に、電気業協同組合と協働で、アオーレ長岡商店街とともに駅周辺でイルミネーションを実施しているが、造形大生デザインによる明かりのスポットを作成するなど、より集客が期待されるものへ更新する。